



国際ロータリー第2560地区
ガバナーテーマ

「ロータリーに輝きを」

高田ロータリー今年の
スローガン

「友情を深め合い、
ロータリーを楽しく！」



2014～2015年度

国際ロータリー会長 **ゲイリー C.K. ホアン**
2560地区ガバナー **佐々木昌敏**
高田ロータリー会長 **齋藤 尚明**
幹事 **牧野 章一**

事務局：新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号
TEL (025) 526-3288 FAX (025) 526-3534
メールアドレス：takadarc@joetsu.ne.jp
例会場：デュオ・セレッソ TEL (025) 526-3111

クラブ広報・会報・雑誌委員
小柳 勝司 佐藤 憲二 石田 誠夫 澤井 祥典
大島 誠 堀井 靖功 永井 謙

第4回例会 ■ 7月25日(金)

No.4

歓迎



2014-2015年度
国際ロータリー第2560地区
佐々木昌敏ガバナー
8月1日公式訪問

会長挨拶 ● 齋藤 尚明

皆さんこんにちは。今年度第4回例会です。先週はお休みさせて頂き石倉直前会長にお願いしました。1回休んだだけで、何か随分久しぶりのような気がするの不思議な感じがします。

先週一週間 新潟三越で個展をしてきました。もう20数年続いています。三越周辺はかつて新潟市の中心地でしたが、年々行きかう人の数は減り、伊勢丹を核とした万代地区に移ったようです。

しかし新潟の人に聞くと、ここも最近出人出が減り今は亀田地区や西区の青山地区といった大型商業施設の集積地に車で人が集まるといことです。そして、かつての中心市街地と言われた所から人の姿が消えていくということになっているそうです。

これはひとり新潟だけでなく私たち上越も、いや全国の多くの都市が同じような問題に直面していて、一刻も早く何かの方策を考えなくてはならないところに来ていると思います。

本日の講話はJ-ホールディングス株式会社 代表取締役社長 伊藤利彦様です。後程お話を伺います。御清聴お願いします。

最後になりましたが、来週の例会は佐々木ガバナーの公式訪問です。皆さまにはよろしく御出席をお願いします。特に新会員の方々にはロータリー

を知る、またとないよい機会だと思います。

出席報告

出席率 97.92%

メイクアップ

羽深耕時君・高坂光一君・牧野章一君（7/19(土)ロータリー防減災セミナー）
中田 正君・酒井一成君・橋詰敏一君・牧野章一君（7/19(土)RAC海岸清掃）
大谷光夫君（7/23(土)ガバナー補佐会議）
高坂光一君（7/23(水)新井RC）
中田 正君・牧野章一君・高坂光一君（7/24(木)RAC上越祭りチャリティーフリーマーケット）

セレモニー

2013-14年度出席皆勤表彰



R財団PHF表彰
石田 誠夫君



米山功労者表彰
橋本 眞孝君

委員会報告

青少年委員会

7/24RAC上越祭りチャリティーフリーマーケット物品提供の御礼及び報告

幹事報告

配布物：週報3号

回覧物：会員増強かわら版

佐々木ガバナーと交流を



8月1日の例会は佐々木昌敏ガバナーの公式訪問です。次の点を承知いただき、ガバナーと交流を深めてください。

1. クラブ協議会には、新会員の方は出来るだけ出席してください。
2. ガバナーはあまり細かいことは言いませんが、会員増強については佐々木年度の成否がかかっている宿題であるといわれており、会

第7分区ガバナー補佐 **大谷 光夫君**

員増強かわら版を速報でホームページに載せて自らも行動されておられます。増強についてはかなりの突っ込みが予想されます。

3. ローターは楽しいことが一番と言われ、懇親会では会員と親しく大いに楽しみたいので、大勢の方の出席を希望されています。
4. 気さくなガバナーとご自分で宣言されておりますので、気軽にお声掛けいただき接していただきたいと希望されております。

卓話 味わいの上越を売り出す

J-ホールディングス株式会社
代表取締役社長 **伊藤 利彦様**

足と宿は少し弱いですが、上越は、歴史、文化、風景、食、酒に富み、とりわけ、やさしい人情には魅力がいっぱい。さらには、日本のへそに位置し、北陸新幹線の開通で、注目度アップの可能性は極めて大。

ソフト観光の視点から、そんな上越を売り出すには、お客様の目で上越観光を組み立てることが必要。それは、①観光資産ありきの発想は捨てて、歓迎すべきお客様を想定し、②そのメンタリテイを研究し、③上越のワクワクする個性を見つけ、④食いつき易くすること、である。

具体的には、①例えば、首都圏シニアでプチ（ちょっぴり）リッチを対象とするなら、②自分だけの本物を得たい、自慢したい、優しさにふれたいという気持ちに向かって、③戻りたいふるさと（例：板倉、安塚、牧）、勇気・感動を湧きあがらせる場所（例：岩の原葡萄園の丘、前島密記念館、光が原の鉄球）や仲の良さ（競争相手を褒め称え合う伝統）を材料として、④物語のレベル感を揃えて提示すること、である。

その意味するところをさらに踏み込んでみれば、実は、究極の観光資産（売り物）は、地元の人たちの魅力。自分たちこそは、最強の観光資産という自覚と自信がほしい。（酒づくりは人づくりから）それは、新幹線に乗ってやってくる負（ふ）の異文化をも撃退できる強力な武器でもある。



第2560地区「会員増強かわら版」を発行

高田クラブの4名も紹介

会員増強の現況を速報でお知らせする2560地区の「会員増強かわら版」第1号が7月18日に発行されました。

これは、佐々木ガバナーの会員増強に対する取り組みの一環で、①新年度に入って入会された20

名の紹介と②「会員増強に尽力した人（スポンサー）にスポンサーバッジを贈り、スポンサーを讃える」活動の状況を掲載しております。

当クラブからは高橋隆二君、勝俣万亀男君、小林豊茂君、箕輪賢一君が紹介されています。

チャリティーフリーマーケットを開催

高田ローターアクトクラブ 幹事 **瀬川由樹子君**

7/24(木)、高田RAC主催チャリティーフリーマーケットを行いました。皆様から物品提供をいただき、会員一同心より御礼申し上げます。

お忙しい中、足を運んで下さいました高田RCの方々、今回の行事においてご一緒できたことを嬉しく思います。また、米山奨学生アロンさんも売り子としてお手伝い頂き、多くの方からのお力添えのもと、16,460円の収益をあげることができました。本年はクラブターゲットを「心の輪」とし、ローターアクト内に留まらずに多くの方との交流を目標としておりますので、今回の行事を通して一歩目標達成に近づくことができたように感じております。多大なるご支援を頂きありがとうございました。

